別記様式第 2 (その 1)

防火対象物点検票

防	火	管	理	者											
立		会		者											
点	検	年	月	日		左	丰	月	日	\sim			年	月	日
防	防火管理維持台帳			記録の)有無	□有	• 🗆 — ½	部有・[コ無	保存	の有無	□有・□	一部有	• □無	
		階別		項	用			途	床	面	積	点検	する部 床面積	備	考
	階別概要(号棟)			階							m²		m²		
防				階							m²		m²		
火対				增							m²		m²		
象				階							m²		m²		
物の				階							m²		m²		
概				階							m²		m²		
要				階							m²		m²		
				增							m²		m²		
		合言	計								m²		m²		
備考															

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 防火管理維持台帳の欄は、該当する□にレ点を記入すること。

	点、検・項・目	点	検	結	果		状況及び措置内容	
	·	判定	不	備	内	容		
	防火管理者選任(解任)	□適						
届		口否						
	消防計画作成(変更)	□ 適						
出	自衛消防組織の設置	□適□否						
	自 衛 消 防 の 組 織	□適□						
	火災予防上の自主検査	□適□						
	消防用設備又は特殊消防	□適						
	用設備等の点検及び整備避難 施設の維持管理	□ 否□□ 適□□						
	避難施設の維持管理及びその案内							
	防火上の構造の	□適						
	維持管理	口否						
消	収容人員の適正化	□適□						
	防火管理上必要な教育	□ 適						
	消火、通報及び避難の訓練	□適						
	その他必要な訓練	口否						
	消火活動、通報連絡及び避難誘導	□ 適						
	消防機関との連絡	□適□						
	工事中の火気使用	□適						
	又は取扱いの監督	口否						
防	防火管理に関し必要な事項	□ 適						
	自活動要領	□適□否						
	消費の教育及び訓練防	□ 適 □ 否						
	組業務に関し必要な事項	□適□						

	共同	協議会の設置及び運営	□ 適 □ 否	
⇒ 1.	自衛	統括管理者の選任	□適□否	
	消防	業務を行う範囲	□適□否	
	組織	運営に関し必要な事項	□適□否	
	防	火管理業務の一部委託	□ 適	
	権	原の範囲	□ 適 □ 否	
	地震防	自衛消防の組織	□ 適 □ 否	
	災対策	情報等の伝達	□ 適 □ 否	
	強化地	避 難 誘 導	□ 適 □ 否	
	地震防災対策強化地域に所在する	施設及び設備の点検及び整備	□ 適	
画	所在する	応 急 対 策	□ 適 □ 否	
	防火対象物	防 災 訓 練	□ 適 □ 否	
	象物	教 育 及 び 広 報	□ 適	
	防火	消火訓練及び避難訓練 の 実 施 回 数	□ 適 □ 否	
	管理者	消火訓練及び避難訓練 を実施する場合の消防 機 関 へ の 通 報	□適□	
1	1	- 124 - 1M		

- 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は、 「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入するこ と。
- 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

	点、検・項・目	J.	点 検	結	果		状況及び措置内容		
		判定	不	備	内	容	1八亿人OTEELTA		
	統括防火管理者選任	□適							
届	(解 任)	口否							
出	全体についての消防	□適							
	計画作成(変更)	口否							
	点検項目	点検結果				状況及び措置内容			
	· 从 · 久 · 日	判定	不	備	内	容	水机灰 O 相 直 P 1 合		
避	難上必要な施設	□適							
及	び防火戸の管理	□否							
防	炎物品の表示	□適							
190	火 彻 m 切 衣 小	口否							
	縮アセチレンガス等の	□適							
貯	蔵又は取扱いの届出	□ 否							

- 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は、 「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入するこ と。
- 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

	b 14	法第17条 の2の5	法第17条 の3第1	点	魚 結 果	
	点検項目	第1項の 適用	項適用	判定	不備内容	状況及び措置内容
	消火器・簡易消火用具	_	_	□ 適		
	屋内消火栓設備	口有口無	□有□無	□ 適		
	スプリンクラー設備	口有口無	口有口無	□ 適 □ 否		
	水噴霧消火設備等	口有口無	口有口無	□ 適		
	屋外消火栓設備	口有口無	口有口無	□ 適 □ 否		
消	動力消防ポンプ設備	口有口無	口有口無	□ 適 □ 否		
防	自動火災報知設備	口有口無	口有口無	□ 適		
	ガス漏れ火災警報設備	口有	口有	□ 適		
用	漏電火災警報器	_	_	□ 適		
	消防機関へ通報する	口有	口有	□適		
設	火災報知設備 非常警報器具・ 非常警報設備	無		□ 否 □ 適 □ 否		
備	避 難 器 具	_	_	□ 適 □ 否		
	誘導灯·誘導標識	_		□適□		
等	消 防 用 水	口有口無	口有口無	□ 適		
守	排 煙 設 備	口有口無	口有口無	□ 適		
	連結散水設備	口有口無	□ 有	□ 適		
	連 結 送 水 管	□有□無	□ 有	□ 適 □ 否		
	非常コンセント設備	□有□無	□ 有	□ 適 □ 否		
	無線通信補助設備	□有□無	□ 有 □ 無	□ 適 □ 否		

- 2 法第 17 条の 2 の 5 第 1 項の適用の欄及び法第 17 条の 3 第 1 項適用の欄は、規定が適用される場合は「有」の口にレ点を記入し、不備のある場合は、「否」の口にレ点を記入すること。
- 3 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は、「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
- 4 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 5 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。
- 6 水噴霧消火設備等とは、水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備又は粉末消火設備をいうこと。

点検項目	必要とされる防火 安全性能を有する 消防の用に供する 設備等の概要	点 検 結 果 判 定 不備内容	状況及び措置内容
令第 29 条の 4 第 設 消 1 項の必要とされ 備 防 る防火安全性能を 等 用 有する消防の用に		□ 適	
等 用 有する消防の用に 供する設備等		口否	
		点検結果	
点 検 項 目	適用される消防用 設備等	判定不備内容	状況及び措置内容
=n, 201/			
設 消 備 防 令第 32 条の適用			
等用		□ 否	
上松石口	特殊消防用設備等	点検結果	(上) 17 7 8 H 平 中 京
点検項目	の概要	判 定 不備内容	状況及び措置内容
用 特 設 殊 備 消 等 防 等		□適	
備消 等 等		口否	
点検項目	適用される消防用 設備等又は特殊消 防用設備等	点横結果	状況及び措置内容
M 15 75 1		判 定 不備内容	W/// X O 11 巨门石
特消 殊防 設 置 の 届 出		□適	
		口否	
特消 殊消防用 設置の届出 別用設 開設 開設 開設 備等 消防機関の検査		□適	
等は		□否	

- 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は、 「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入するこ と。
- 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した 内容を記入すること。
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。